

# 科学技術と現代社会

## 第6回 原爆による被害

---

田中 浩朗  
(東京電機大学)

# フリッシュ・パイエルス・メモから(復習)

- 放射性物質が風によって散らばるので、この爆弾が多くの市民を殺害することなく使用されることは、たぶんありえない。このため、わが国が使用する武器としては不適當となろう。 (1940年)

# 原爆による被害

- 物理的被害
  - ◆ 爆風・熱線・放射線による
- 社会的被害
  - ◆ 社会の無策・偏見・差別等による

# 物理的被害

- 核爆発のエネルギー
  - ◆ 爆風(50%) → 建物倒壊、外傷
  - ◆ 熱線(35%) → 火災、火傷
  - ◆ 初期放射線(5%) → 急性障害、後障害
    - ガンマ線
    - 中性子線
  - ◆ 残留放射能(10%) → 急性障害、後障害
    - 放射性降下物(黒い雨)
    - 誘導放射能

# ビデオ

- NHKスペシャル  
「原爆の絵 ～市民が残すヒロシマの記録～」  
(NHK総合, 2002.8.6)
- ◆ 原爆投下直後の状況

# ビデオ

- 「ヒロシマ ナガサキ  
～白い光 黒い雨 あの夏の記憶～」  
(NHK総合, 2008.8.5)
- ◆ 日系3世スティーブン・オカザキ監督作品
- ◆ 米軍調査団による記録映像

# 社会的被害

- 医療の欠如
  - 生活援護の欠如
- 「空白の10年」
- ◆ 被爆者援護は1957年の被爆者医療法から
- 差別・偏見
  - 実験材料にされたことに対する屈辱

# ビデオ

- 「被爆者 空白の十年」(NHK総合, 2007.9.24)
  - ◆ 医療の欠如
  - ◆ 援護の欠如
  - ◆ 差別・偏見



# 第6回課題

- 第6回授業の簡単なまとめと感想など
- なぜ被爆者は、10年以上ものあいだ、医療上・生活上の援護を受けることができなかったのだろうか？